

ウォーターモーターゴング

WMGⅢ－B型

取付要領書

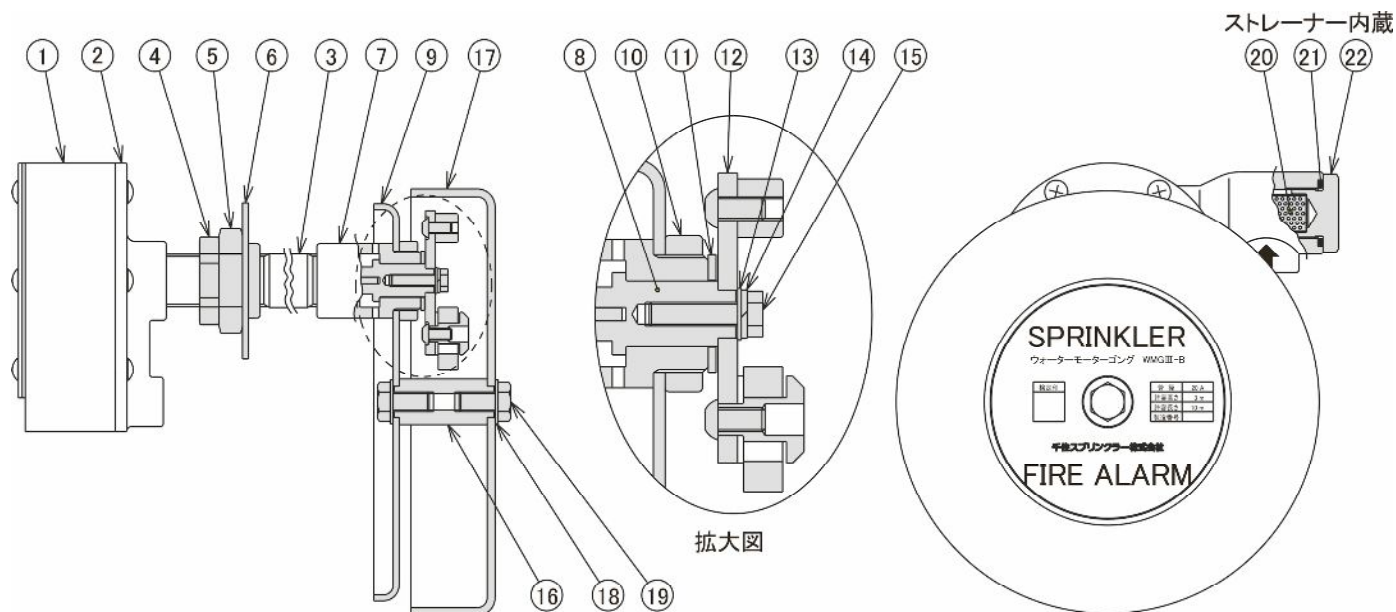
千住スプリンクラー株式会社

T060692

1. 本製品の主な名称

本製品の主要構成部品は、次のようになっております。本製品のご理解、ならびにお問合わせの際にご利用ください。

また、本製品にはストレーナーが内蔵されていますので、別途ストレーナーを設置する必要はありません。

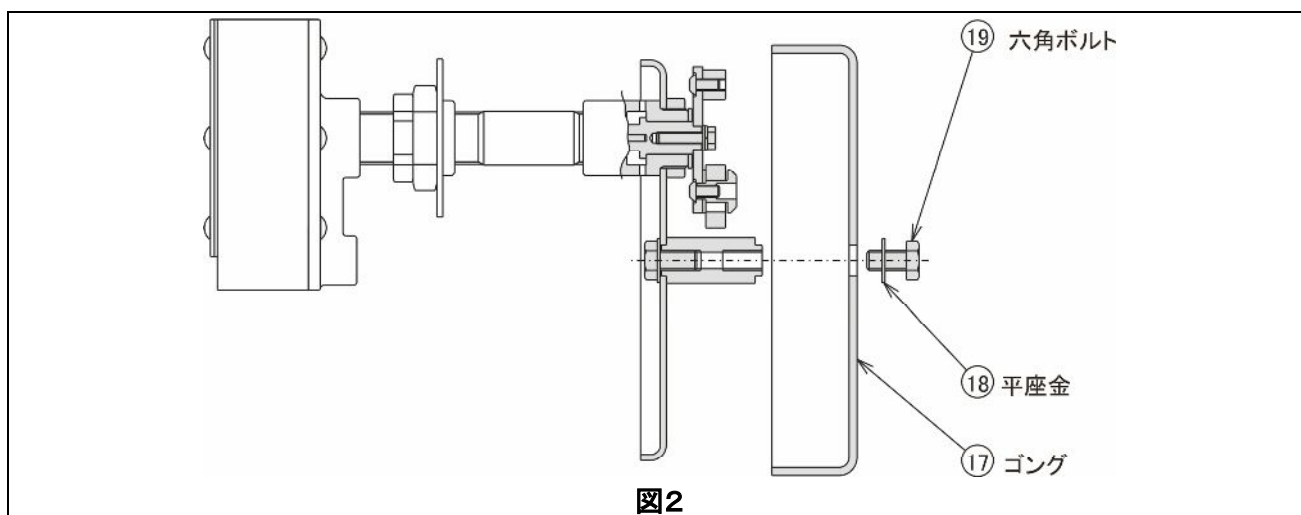


番号	部品名称	個数	材質	備考
1	ケーシングボディ	1	AC7A	
2	軸受けフランジ	1	AC7A	
3	連結パイプ	1	SGP	
4	ロックナット	1	SS400	
5	アジャストナット	1	SS400	
6	壁当てワッシャー	1	SPCC	
7	アダプター	1	A2017	
8	カップリング	1	POM	
9	ウォールサポーター	1	A5052	
10	止めナット	1	A2017	
11	滑りワッシャー	1	POM	
12	ストライカーアーム	1	A2024	
13	平座金	1	SUS304	呼び 6
14	ばね座金	1	SUS304	呼び 6
15	六角ボルト	1	SUS304	M6 × 25
16	支柱	1	SS400	
17	ゴング	1	A5083	
18	平座金	1	SPCC	呼び 10
19	六角ボルト	1	SWCH	M10 × 20
20	スクリーン	1	SUS304	
21	Oリング	1	NBR	P28
22	プラグ	1	C3604	

図1

2. ウォーターモーターゴングの取付要領

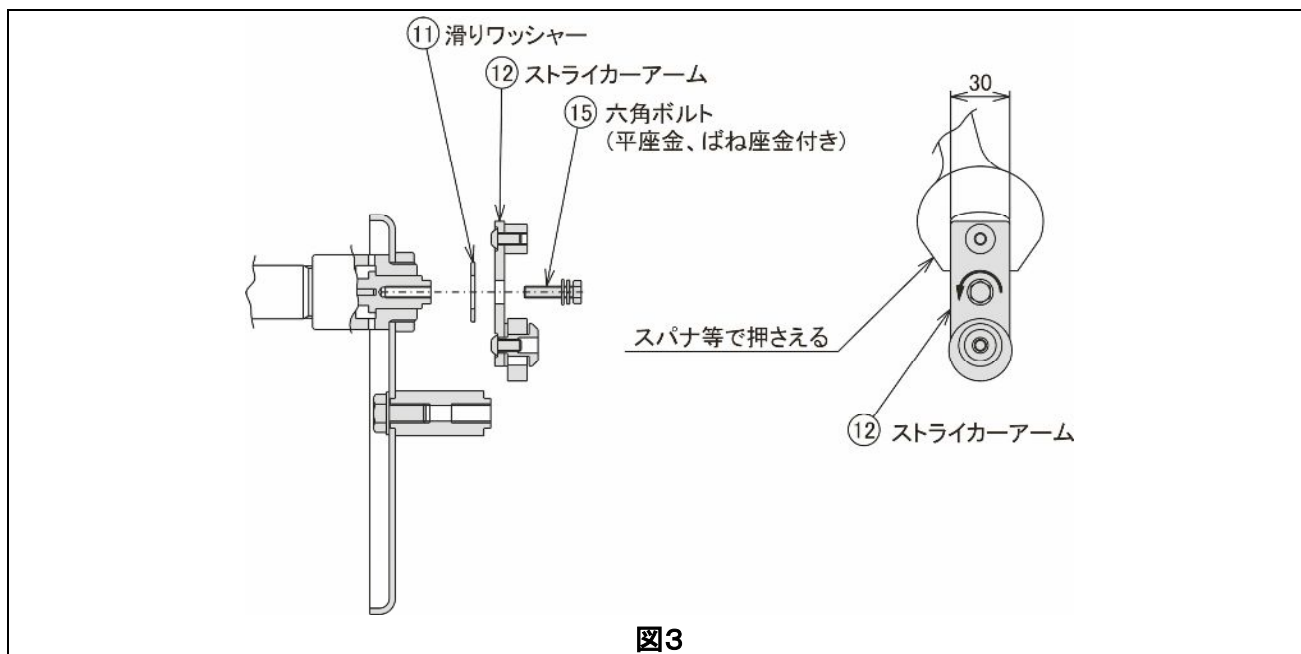
2. 1 ゴングの取外し



「①⑨六角ボルト」を緩めて、「①⑦ゴング」及び「①⑧平座金」を取外してください。

取外す際に、部品を落としたり、無くさないように注意してください。

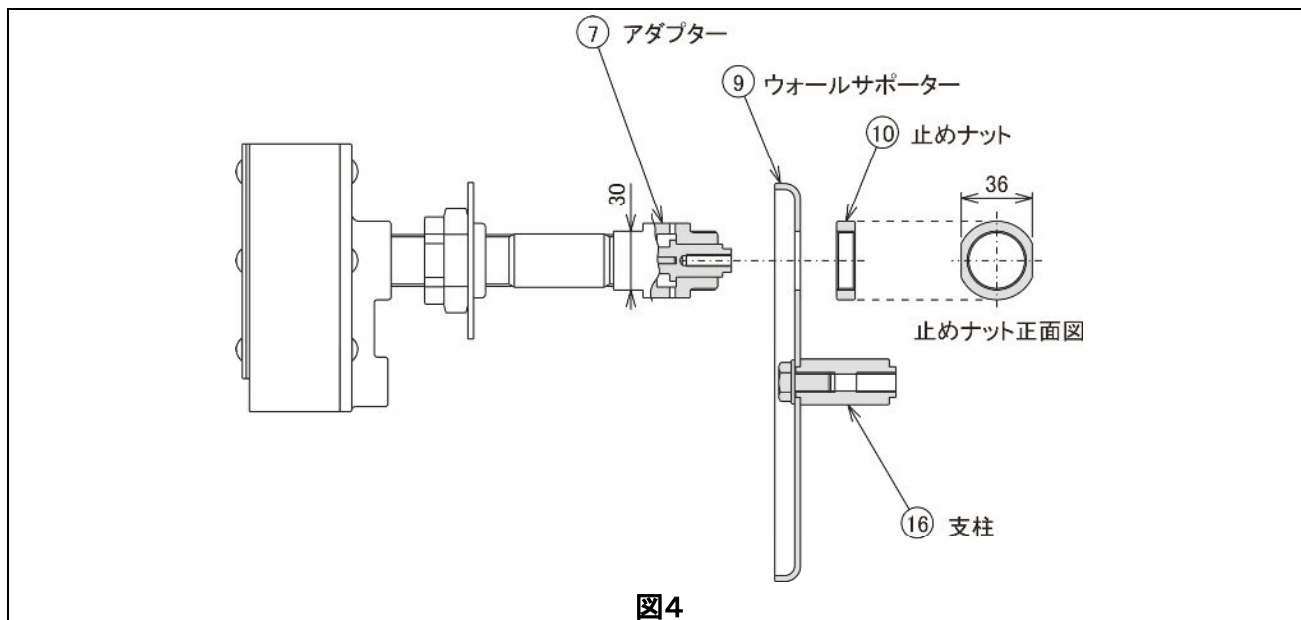
2. 2 ストライカーアームの取外し



上図に示すように、「①②ストライカーアーム」をスパナ等で押さえながら「①⑤六角ボルト」を緩め、「①②ストライカーアーム」と「①①滑りワッシャー」を取外してください。

取外す際に、部品を落としたり、無くさないように注意してください。

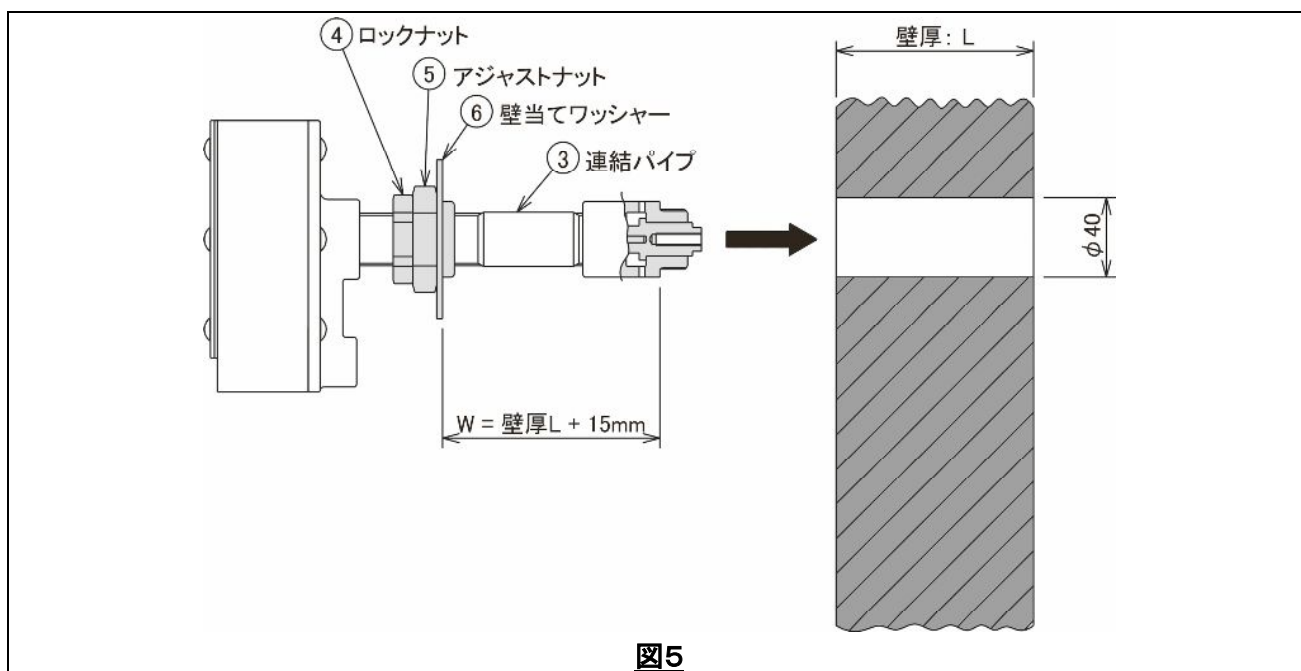
2. 3 ウォールサポーターの取外し



スパナ等で「⑬アダプター」を押さえながら「⑩止めナット」を緩め、「⑨ウォールサポーター」を取外してください。

なお、「⑬支柱」は「⑨ウォールサポーター」から取外さないでください。

2. 4 連結パイプを壁に通す



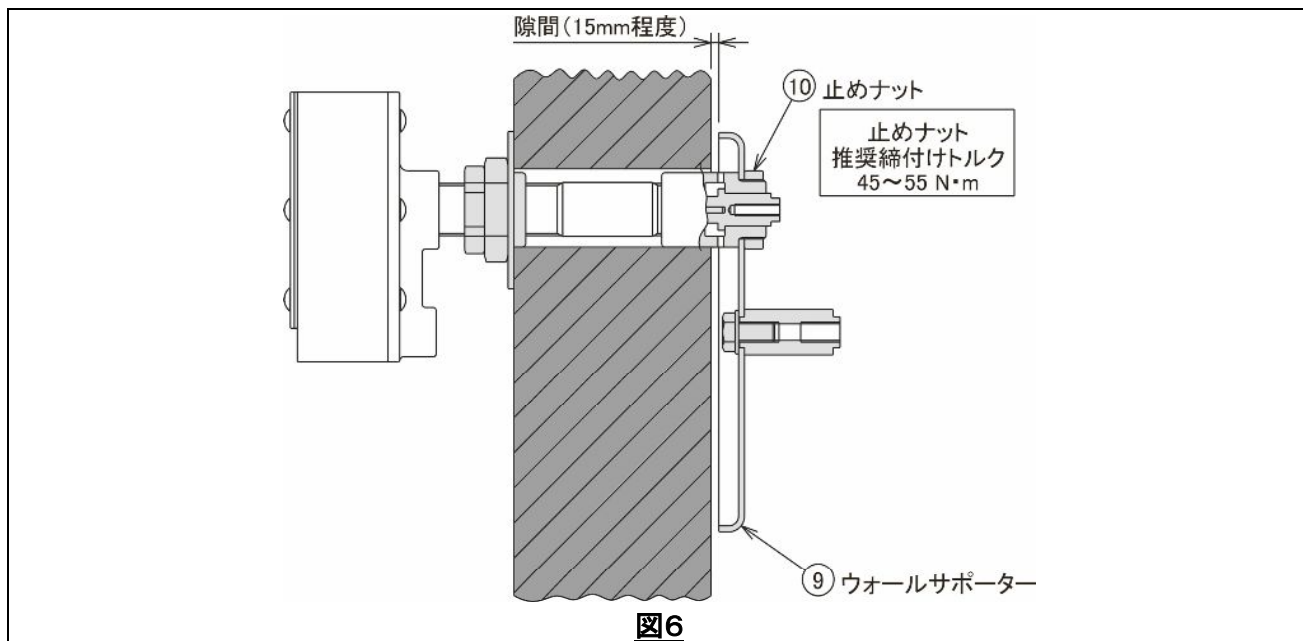
ウォーターモーターゴング取付け部の壁にφ40の貫通穴をあけてください。

スパナ等で「⑤アジャストナット」を押さえながら「④ロックナット」を緩め、上図中の W 部分の寸法が壁の厚さ L より 15mm 程度長くなるように「⑤アジャストナット」の位置を調節してください。

「③連結パイプ」側を壁に設けた貫通穴に挿入してください。

ウォーターモーターゴングの設置高さは、アラーム弁の信号停止弁からの高さが3m以内となるようにしてください。この高さを超えた場合、正規の音量が得られなくなる恐れがあります。

2.5 ウォールサポーターの再組立て

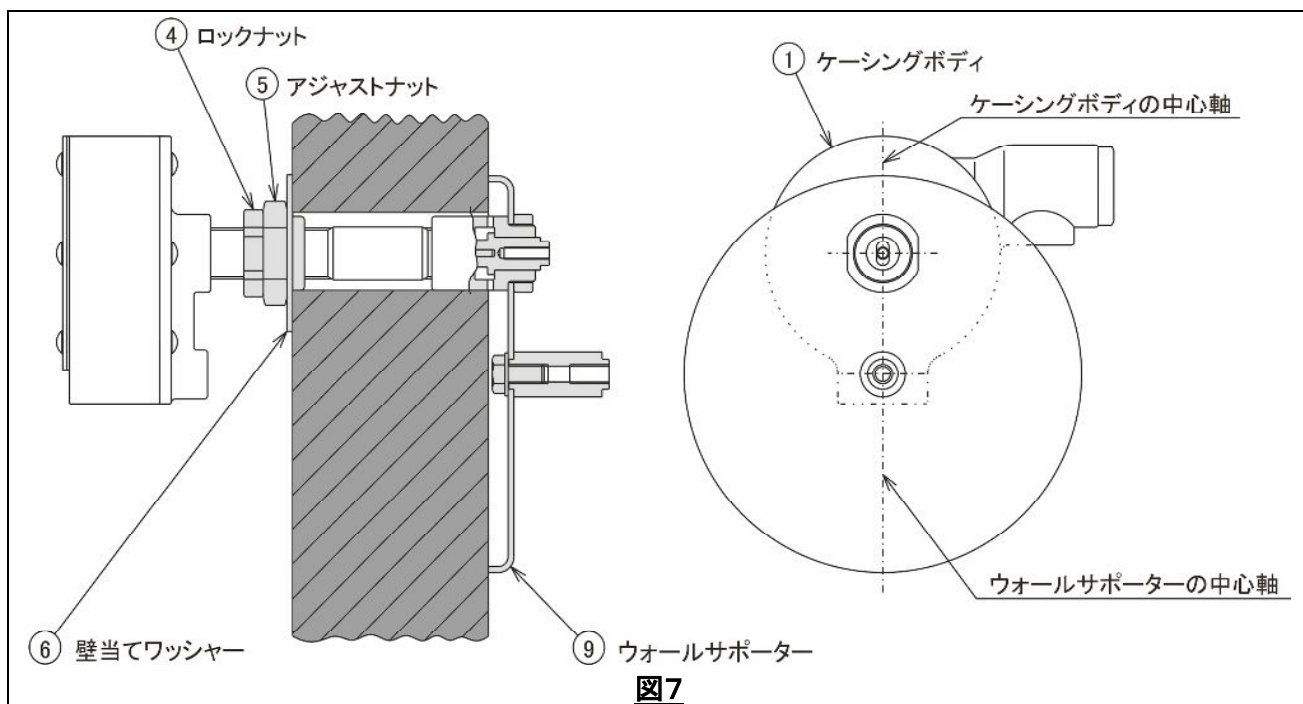


推奨トルク値を目安に「⑩止めナット」を締め込んで「⑨ウォールサポーター」を固定します。

この時、壁面と「⑨ウォールサポーター」との間に必ず数mm程度(手順「2.4」において15mm程度調整した分)の隙間があることを確認してください。

隙間がない場合、正常に組付けられていないことが予想されますので、3ページの手順「2.4」をやり直してください。この時の固定状態が悪いと、「⑫ストライカーアーム」の回転に悪影響を及ぼします。

2.6 壁面への固定

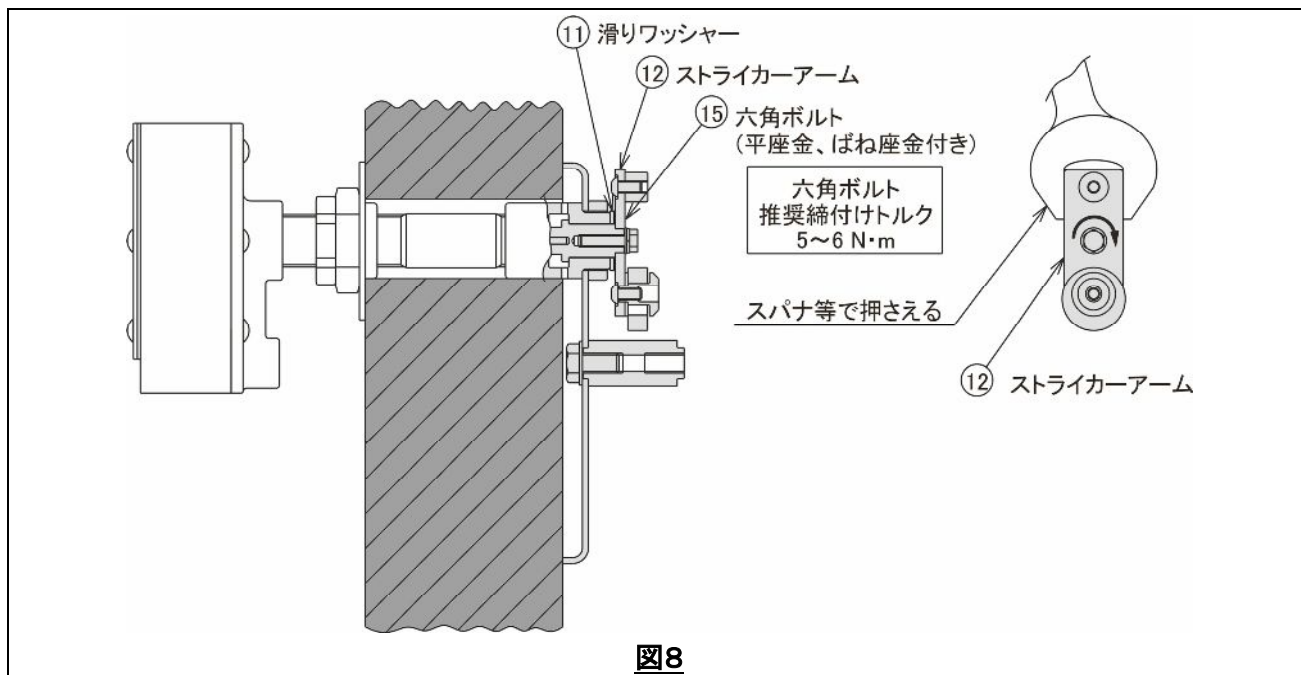


「⑤アジャストナット」を締め込んでいき、「⑥壁当てワッシャー」と「⑨ウォールサポーター」とで壁を挟み込んで固定します。

スパナ等で「⑤アジャストナット」を押さえながら「④ロックナット」を締め込んでロック固定します。

この時、「①ケーシングボディ」の中心軸と「⑨ウォールサポーター」の中心軸が、上図(右図)に示すように垂直線上に並ぶように固定してください。

2. 7 ストライカーアームの再組立て

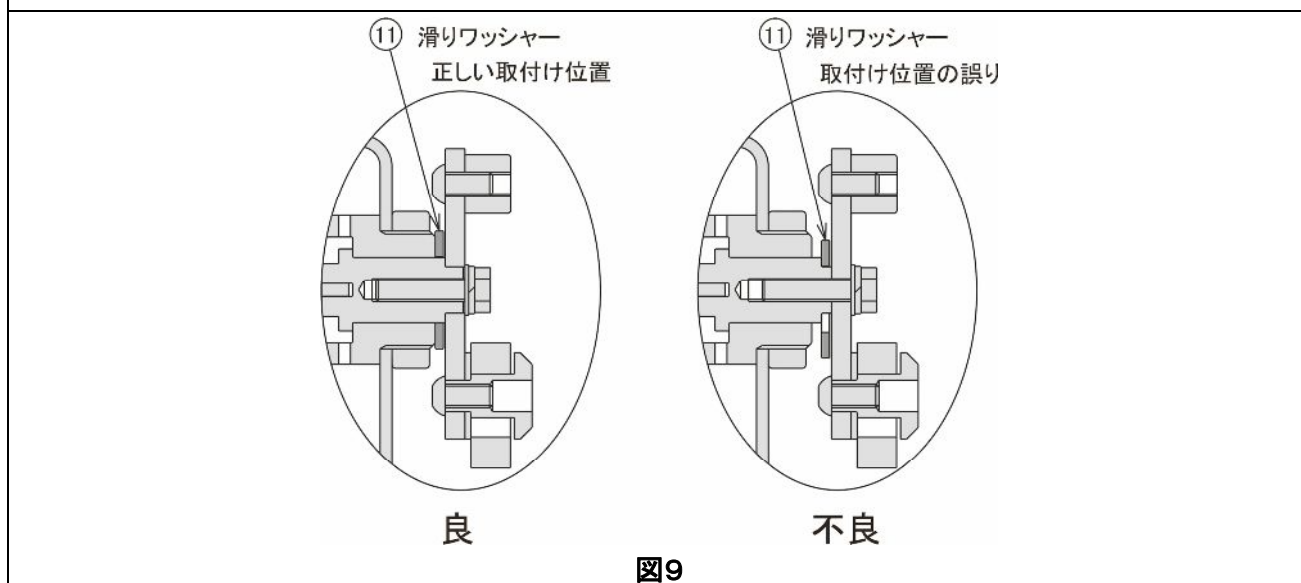


「⑫ストライカーアーム」等を再組立してください。

再組立ての際は、「⑫ストライカーアーム」を上図に示すようにスパナ等で押さえながら、推奨トルク値を目安に「⑮六角ボルト(平座金及びばね座金付き)」を締め込んでください。

なお、「⑪滑りワッシャー」の装着については、下記の図9を参照し、正しい位置に取付けてください。

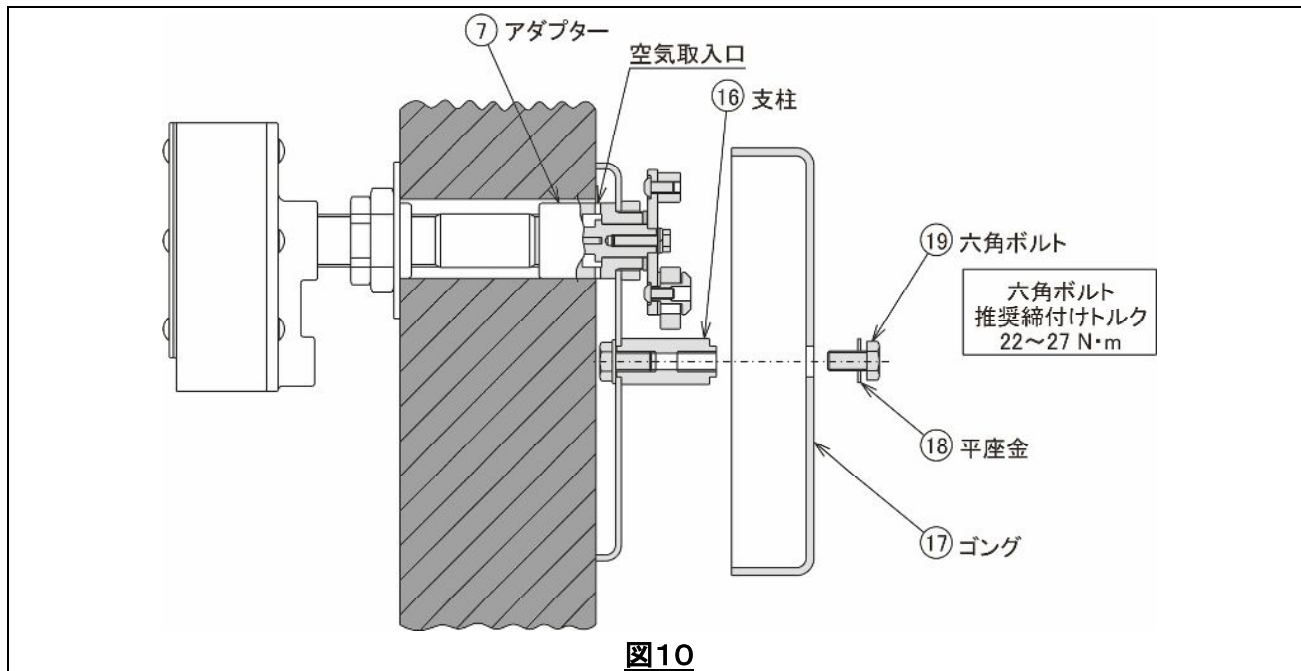
△ 滑りワッシャーの取付けに関する注意事項



再組立ての際、「⑪滑りワッシャー」が所定の位置に挿入されていないと、「⑫ストライカーアーム」が回転しません。上図を参照し、「⑪滑りワッシャー」の芯ずれがないよう正しい位置に取付けてください。

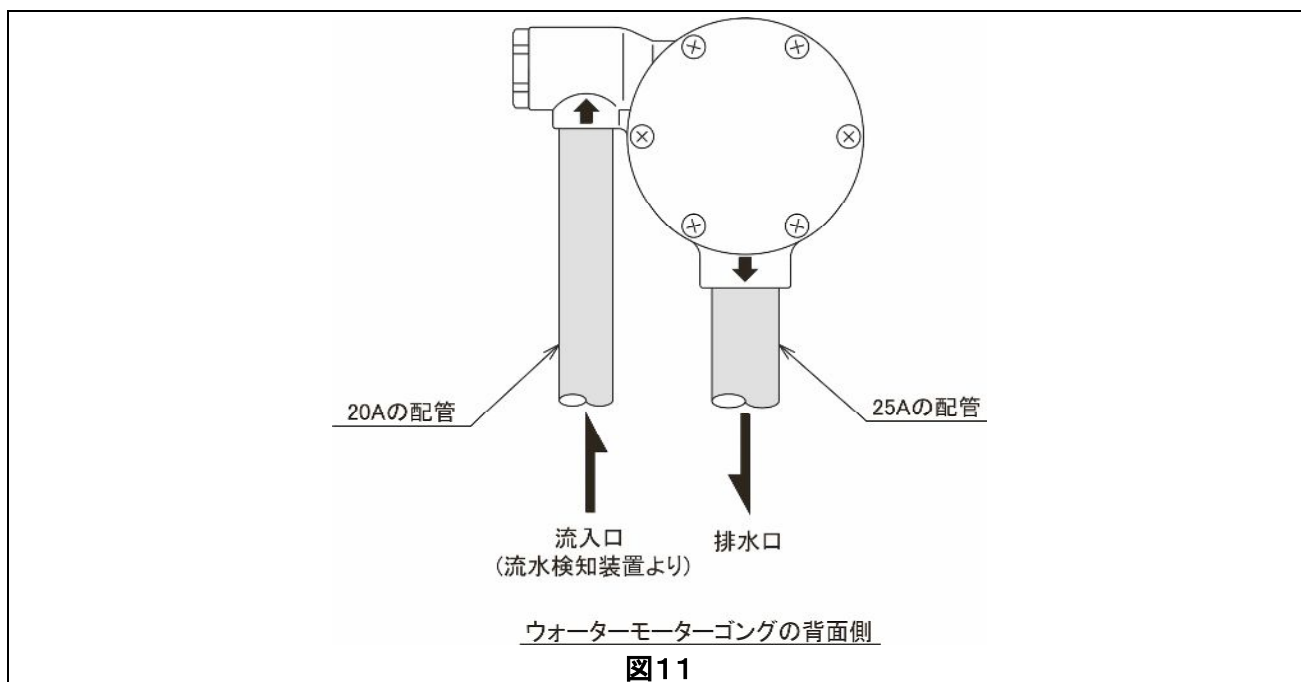
取付け後、「⑫ストライカーアーム」を指で回すことで、スムーズに回転することを確認してください。

2.8 ギョウの再組立て



推奨トルク値を目安に「①⑨六角ボルト」を締め込んで、「①⑦ギョウ」を組立ててください。
この時、「①⑦ギョウ」に貼付されている銘板の表示(文字)が逆さま等にならないよう固定してください。
「①⑦アダプター」に設けられている空気取入口は塞がないようにしてください。

2.9 配管の接続



最後に、ウォーターモーターギョウに配管を接続してください。
流入口側には20Aの配管、排水口側には25Aの配管を接続してください。
アラム弁からウォーターモーターギョウまで、20Aの配管の総長さが10m以内となるようにしてください。この長さを超えた場合、正規の音量が得られなくなる恐れがあります。

⚠ 排水管に関する注意事項

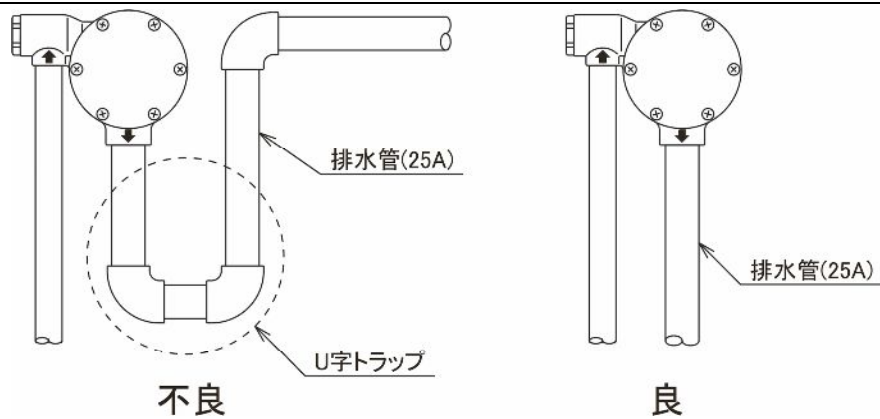


図12

ウォーターモーターゴングからの排水管は、U字トラップ等、排水効率が悪くなるような配管は避けてください。アラーム弁作動時、排水管から正常に排水されずにウォーターモーターゴング内に水が溜まり、正規の音量が得られなくなります。また、ウォーターモーターゴング内が蓄圧し、漏れが発生する恐れがあります。

ウォーターモーターゴングからの排水管において、排水主管側からの逆流が予想される場合には、その途中に逆止弁を設ける等の処置を講じてください。アラーム弁の圧力スイッチが誤作動してしまう恐れがあります。

ウォーターモーターゴング(ケーシングボディ)は耐圧構造ではありませんので、0.1MPaを超える圧力が加わらないようにしてください。

3. ウォーターモーターゴングの取付状態図

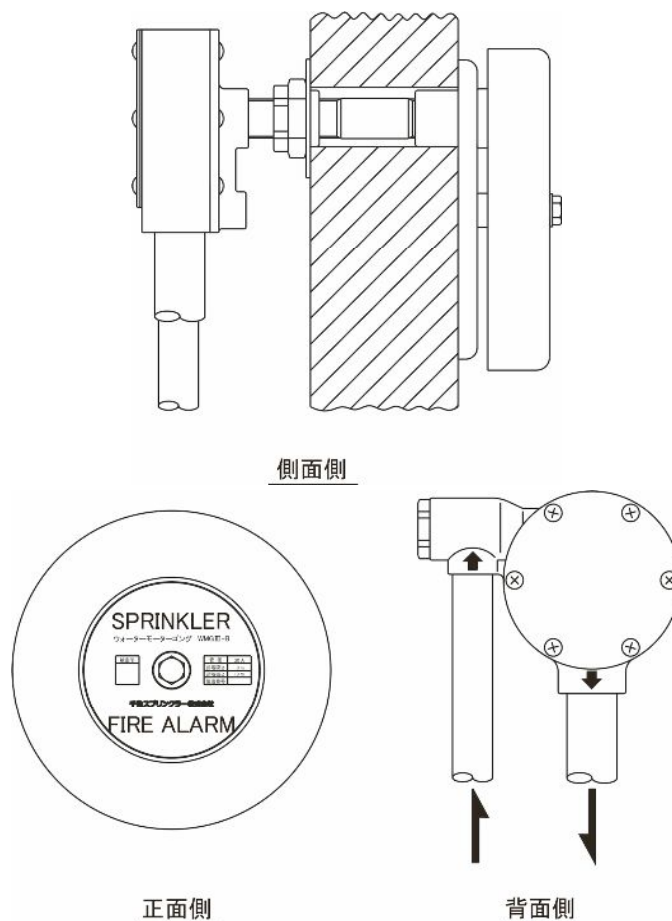
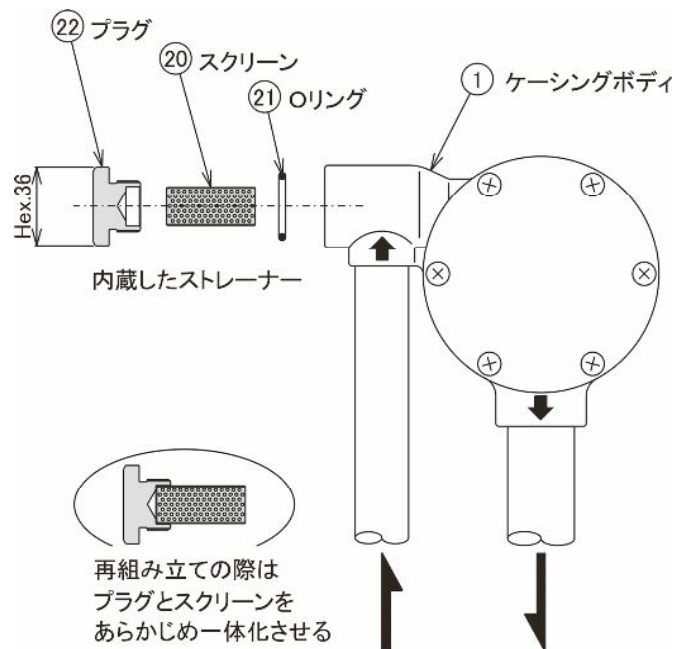


図13

4. ストレーナーのメンテナンス方法



ウォーターモーターゴングの背面側

図14

ウォーターモーターゴングを作動させた後、内蔵されているストレーナーの内部にあるスクリーンを清掃してください。

スクリーンが目詰まりしていると、ウォーターモーターゴングの鳴動音が小さくなったり、鳴らなくなったりする恐れがあります。

1) スクリーンの取外し

上図に示すように、「①ケーシングボディ」から「②プラグ」及び「②①スクリーン」を取外してください。

取外す際に、「②①Oリング」を無くさないように注意してください。

2) スクリーンの清掃

「②①スクリーン」が異物等により目詰まりしている場合は、きれいに取除いてください。

3) 再組立て

スクリーン清掃後、先に「②①Oリング」を「①ケーシングボディ」へ取付けてください。次に、あらかじめ上図のように「②プラグ」に「②①スクリーン」を組込んで一体化させてから、「①ケーシングボディ」に元通り組付けてください。

5. お願い

定期的にウォーターモーターゴングの各固定部分に緩みがないか確認してください。